

## 一般社団法人日本液晶学会 2017 年度第 2 回理事会議事録

日時：2017 年 10 月 28 日（土）12：50～17：00

会場：国際文献社会議室（江戸川橋）

出席者：加藤 隆史、石原 將市、平岡 一幸、能勢 敏明、松山 明彦、石鍋 隆宏、物部 浩達、間宮 純一、宇佐美 清章、北村 道夫、永野 修作

欠席者：尾崎 雅則、浦山健治、鈴木 成嘉、半那 純一

（以上、敬称略）

### 議事

12:50 に出席予定者全員の参集を確認し代表理事の発議で理事会が開始された。

#### 1. 会長挨拶

#### 2. 配布資料確認

#### 3. 報告および審議事項

##### 3.1 第 6 回定時社員総会議事録案が承認された。

##### 3.2 総務委員会

###### 3.2.1 [報告事項]

(1) 前回理事会から今回の理事会までのメール審議承認事項として以下の 3 件が報告された。

- ① 2016 年度第 6 回理事会議事録の承認（2017 年 9 月 14 日付）
- ② 会計事務規則の改定について（2017 年 9 月 30 日付）
- ③ 2017 年度第 1 回理事会議事録の承認（2017 年 10 月 5 日付）

(2) 会員状況、新規入会者、退会者、会費未納による退会処理数が報告された。

(3) 各種公募と公示について

各種公募と公示について、第一回理事会で承認された文案を一部改定し[表彰委員長より日本液晶学会賞公募文案の締切りを 2 月 23 日から 2 月末日にすることが提案され承認された。3.10.2(2)表彰委員会審議事項参照]、学会誌 1 月号への掲載依頼ならびに学会ホームページと JLCS-Information へ年末年始にかけて掲載依頼することが報告された。

###### 3.2.2 [審議事項]

(1) 次年度役員数について

2018 年度は理事 13 人体制とし理事 13 人のうち退任する 8 人の補充を行うこと、また監事についても 2 人体制とし退任する 1 人の補充を行うことが承認された。

尚、役員については経費削減のため定員減を検討したが、学会発足当時の 20 数名から半減、この 5 年間でも 4 名減となっており、各理事の分担業務量を考慮し現在の 13 名が妥当であると結論を得た。

(2) 次年度代議員数について

2018 年度代議員数を 30 名（継続 15 名＋改選 15 名）とすることが承認された。

(3) 必要に応じて理事会書類にパスワードを設定することが承認された。

##### 3.3 財務委員会

###### 3.3.1 [報告事項]

(1) 日本液晶学会会計事務規則（2012年8月11日制定）の改訂が理事会（メール審議）で承認された（2017年9月30日）。改訂の概要は以下の通り。

#### 第10条（消費税について）

現在：本会講演会・討論会及びフォーラム講演会等の会員の参加費は不課税とし、非会員の参加費は課税とする。・・・課税とする。

変更（案）：本会討論会の会員の参加費は不課税とし、それ以外の講演会（フォーラム講演会等）の会員の参加費は課税とする。非会員の参加費はすべて課税とする。・・・課税とする。

#### 第11条（源泉徴収について）

現在：第5条で規定する交通費及び宿泊費並びに第9条で規定するアルバイト料については源泉徴収を行わない。また、第7条及び第8条で規定する講演料及び原稿料については本会事務局において源泉徴収を行う。・・・発行する。

変更（案）：第5条（2項を除く）で規定する交通費及び宿泊費並びに第9条で規定するアルバイト料については源泉徴収を行わない。また、第5条2項、第7条及び第8条で規定する講演料、交通費、宿泊費及び原稿料については本会事務局において源泉徴収を行う。・・・発行する。

#### 10条に関する財務申し送り事項：

※但し、液晶学会は免税事業者の為、消費税の申告・納付の必要はないが、課税取引については設定（収入面での課税・不課税の設定）の必要がある。今後の決算内容によっては免税事業者から課税事業者になる可能性もあり、その場合は会計監査時等で国際文献社会計担当者から連絡がある。

(2) 2017年10月6日開催の化学・材料フォーラム講演会（接着技術）の収支が報告された。

#### 3.3.2 [審議事項]

(1) 会計規則改訂に伴う会計規則のファイル修正は、松山財務理事ならびに事務局・鈴木氏が担当することが承認された。

#### 3.4 編集・情報委員会（編集委員会）

##### 3.4.1 [報告事項]

(1) 学会誌の発行

学会誌 Vol. 21 No.3 と No. 4 は 20 周年記念特集号として発行、2018 年 1 月号からは通常通りとなることが報告された。併せて、Vol. 19 No. 3 から Vol. 21 No. 3 までの編集費用の推移が報告された。

(2) 20 周年記念について、これまでの活動と今後の方針が報告された。

出版物として「液晶実験科学講座-基礎と計測-」の発刊、「学会誌の 20 周年記念特集号の発行(上述)」、ならびに「【Wiki】液晶 Pedia (仮)」が 2018 年から始動予定であることが報告された。

(3) 在庫分の「液晶」バックナンバーの希望者への有料配布、欠本分の国立図書館への納本、会費未納者の液晶マイページにおける PDF 記事閲覧方法の変更、PDF ダウンロードの数取得のための電子ジャーナルのアクセス解析の改良、電子ジャーナル「液晶」の目次・書誌データの英語表記、について各々報告された。

(4) 任期満了に伴う編集委員の後任人事が報告された。

##### 3.4.2 [審議事項]

(1) 液晶「冊子体」および（旧）液晶討論会の予稿集などの在庫整理について。現在、大昭和印刷にて保管されている「液晶」および「液晶討論会予稿集」等について、年末まで（12月頃）に在庫処分を行い、各号2部を保存用として事務局（国際文献社）あるいは寺田倉庫にて保管することが承認された。

(2) 機関レポジトリ等への「液晶」記事の収録許諾について、以下の①～⑥の審議結果に基づき、基本方針と申請書雛型案が承認された。

① 学術の発展に資するので基本的に認める。ただし、著者個人 HP は不可。

- ② 記事毎に日本液晶学会の許可が必要。事務局に申請し理事会審議（メール審議など）により決裁する。
- ③ 2年間のエンバーゴ（掲載猶予）期間を設ける。
- ④ 液晶誌掲載版での公開とする。
- ⑤ 著作権「(C)日本液晶学会」の明記と電子ジャーナル書誌情報へのリンク。
- ⑥ 著者（もしくは代理者）からの許諾申請を求める。

(3) 2018年7月に開催される ILCC2018 の学会・会議報告を液晶誌（電子ジャーナル・冊子体）へ掲載することが承認された。尚、執筆者選定にあたり、研究フォーラム（研究会担当理事を経由）または ILCC2018 実行委員会の協力を得ることとした。また、国際液晶学会の機関紙である Liquid Crystals Today へも会議報告を投稿することとし、液晶誌の原稿依頼と同時に執筆依頼を行うこととした。

(4) 非会員の討論会参加費を、現在の 19,000 円から 21,000 円（事前登録は 17,000 円から 19,000 円）に値上げすることが承認された。

(5) 日本液晶学会討論会についての協賛依頼の見直しが提案され、依頼学会を増加する方向で進めることが承認された。

(6) 討論会参加申し込みシステムと会員データベースの連動が提案され、理事が変わっても円滑な運営ができるように、検討することが承認された。

(7) 討論会参加費に年会費を含めるプランが提案され、他学会の現状などについて情報収集することとなった。

(8) 討論会の登壇者を会員に限定することを検討中であることが報告された。

### 3.5 編集・情報委員会（情報委員会）

#### 3.5.1 [報告事項]

##### (1) JLCS-Information（同報 ML）、WEB について

2017年7月1日～9月30日の間に、[JLCS-Information:0150～162]の13記事の配信作業を WEB 管理 WG にて行ったこと（JLCS ニュースレター：3件、液晶誌発行：1件、主催・協賛行事案内：4件、公募1件、会告4件）、協賛依頼を7件の掲載、学会 HP において2017年虹彩賞・若葉賞のリスト公開、理事会報告の更新が、各々報告された。

尚、討論会の開催報告ページを設置し2017年討論会の作業は終了したこと、2018年もシステムの流用は可能であることが報告された。

##### (2) ML の設置・更新について

2017年度のメンバーへ更新した。

(3) J-Stage への日本液晶学会討論会予稿集の登載について、今後のデータの公開タイミングを含め確認のため再度報告された。（再掲）

(4) (旧) 液晶討論会講演予稿集の J-Stage への掲載について、これまでの Nii に掲載されていたデータについてサイト閉鎖に伴う J-Stage への移管作業準備終了が報告された。

(5) jlcs.jp、ekisho.jp ドメイン管理会社の変更について報告された。

(6) 各フォーラムの WEB ページの更新状況が報告された。

(7) 2017年度の情報委員会委員と WEB 管理 WG 委員の人事が報告された。

#### 3.5.2 [審議事項]

特になし。

### 3.6 行事委員会

#### 3.6.1 [報告事項]

(1) 2017年度液晶学会討論会の概要[登録者数 301名(事前登録 251名、当日登録 50名)と暫定版の会計報告など]が報告された。尚、最終的な会計報告は1月の次回理事会で報告予定である。

(2) 2018年度液晶学会交流会・討論会の準備状況[開催地：岐阜大学、交流会日程：9月3日(月)、討論会日程：9月4日(火)～6日(木)、収支試算など]が報告された。尚、ミニシンポジウムなどの企画については、混乱を避けるため応募の締め切りを設けることが提案され承認された。

(3) ILCC2018の準備状況が報告された。

#### 3.6.2 [審議事項]

(1) 報告事項(2)にあるように、次回の液晶討論会の開催におけるミニシンポジウムなどの企画については、混乱を避けるため締め切りを設けることが承認された。

(2) 液晶討論会の運營業務について以下の提案を審議した。

①虹彩賞・若葉賞の実施について。各フォーラムへの審査員の選出依頼のみでなく、「審査員の割り当て、審査員への諸連絡、現地での採点実施、集計、選考、賞状印刷(現地)」などの実施業務の主体をフォーラム担当理事に移管し、行事担当理事は同業務の補助役として位置づけることが提案され承認された。

②入金確認や現地受付でのお金のやりとり、および参加登録情報の管理作業などを、国際文献社やポラリスなどに移管することが提案され、次回理事会に案が提出されることとなった。

③表彰関係の連絡について。表彰委員会と行事担当の分業になっている各受賞者に対する連絡(表彰式への出欠確認、登録費関係、受賞講演の登録関係、略歴提出など)を、表彰委員会と国際文献社で一括して担当することが承認された。

(3) 2018年度以降の液晶学会討論会の開催について、2019年度は世話人として斎藤教授(筑波大学)に検討頂いている旨の報告がありました承された。

### 3.7 国際・研究会委員会(国際担当)

#### 3.7.1 [報告事項]

表1記載のように第27回国際液晶会議(ILCC2018)における液晶学会側の担当理事は、宇佐美理事(国際・研究会担当)が務め、必要に応じてILCC2018事務局長の舟橋正浩先生が理事会にオブザーバーとして出席することとなった。

表1： 国際会議等一覧表

会議名	開催時期・場所	ご担当の先生	液晶学会の対応
ILCC2018	2018/07/22-27 国立京都国際会館	加藤隆史先生(実行委員長) 舟橋正浩先生(事務局長)	主催 担当理事： 宇佐美 国際・研究会担当理事 必要に応じて舟橋先生が理事会にオブザーバーとして出席

#### 3.7.2 [審議事項]

特になし。

### 3.8 国際・研究会委員会(研究会担当)

#### 3.8.1 [報告事項]

(1) 2017年度フォーラム行事予定が報告された。

(2) 12月2日開催予定の合同基礎講座にて、今後のWebinar開催の為に試験実地計画が報告された。

(3) 各フォーラムの委員と役職の確認、フォーラムMLメンバーリストの更新が報告された。

(4) 行事開催マニュアルの改訂が報告された。実情に合わせて手順を修正し、開催の計画及び実行結果を他のフォーラムが参考にできるように書式を追加し、開催した行事の計画書や報告書等を液晶学会の主査専用ポータルに保存することにした。

(5) 今年度のフォーラム行事にてアンケートを実施する予定であり、その内容と実施形態について検討中であることが報告された。さらに、集計の手間を削減するためにgoogleフォームなどのソーシャルツールの活用が検討中であることが報告され、宇佐美理事が管理し1年間試験的にやることとなった。

(6) 20周年記念事業委員会関連

①日本液晶学会20周年記念シンポジウム「次世代液晶技術が拓くディスプレイの未来（実行委員長 藤掛先生）」が、4月20日（金）タワーホール舟堀において開催予定であることが、加藤会長経由で報告された。

②ロードマップ策定について。

記念事業委員会からフォーラム主査への意見聴取の依頼があり、意見集約し返答予定であることが報告された。

### 3.8.2 [審議事項]

(1) 20周年記念事業委員会関連

日本液晶学会20周年記念シンポジウム「次世代液晶技術が拓くディスプレイの未来」について理事会側は、「加藤会長、平岡総務理事、松山財務理事、石鍋財務理事(ディスプレイF主査)、宇佐美研究会担当理事」が、各々担当することが承認された。

## 3.9 役員候補者および代議員候補者選考委員会

### 3.9.1 [報告事項]

(1) 次期代議員選定委員会委員については、委員長：宇佐美理事(国際研究会)、委員：物部理事(編集情報)、委員：間宮理事(編集情報)とし、正会員から選定される委員については1名を選考中であることが報告された。

(2) 役員候補者選考委員会は以下の通りであることが報告された。

委員長：尾崎副会長、幹事：平岡(総務理事)の他の、理事一名の委員と理事以外の正会員メンバー(若干名)は選考中であることが報告された。

### 3.9.2 [審議事項]

特になし。

## 3.10 表彰委員会

### 3.10.1 [報告事項]

(1) 2018年度各賞選考スケジュール(下線が施されているものは、確定済み)が報告された。

2017年

12月 フォーラム主査と編集委員長宛に、論文・著作賞小委員会委員への就任依頼  
発信(乞 返信)

2018年

1月5日(金) 個人賞、論文・著作賞公募をML配信ならびに学会WEBに掲載  
連絡先は、日本液晶学会事務局とする。

公募期間は、2018年2月1日(木)～2月28日(水) 17時

- 1月12日(金) フォーラム主査と編集委員長へ、論文著作賞の候補論文等の推薦依頼  
 1月25日(木) 液晶誌1月号(第22巻1号)で学会賞候補者、論文・著作を公募  
 2月27日(火) 12時 フォーラム主査と編集委員長からの推薦締切期日  
 2月28日(水) 17時 論文・著作賞公募締切  
 3月10日(土) 表彰委員会(個人賞)開催  
 3月24日(土) 表彰委員会(論文・著作賞)開催  
 上記委員会で理事会への推薦候補者を決定  
 4月14日(土) 第4回理事会で承認  
 →受賞者受諾後、受賞講演依頼(行事担当理事)  
 →メダル、賞状の手配(事務局)  
 7月25日(水) 液晶誌7月号(第22巻3号)にて受賞者を掲載  
 8月 予稿集作成時 受賞講演要旨準備(行事担当理事)  
 9月5日(水) 日本液晶学会討論会(岐阜大学)で表彰、受賞講演

### 3.10.2 [審議事項]

(1) 以下の2018年度表彰委員会委員候補が承認された。

#### 1.1 個人賞小委員会委員(主担当:石原)

太田和親(信州大学)  
 近藤克己(堺ディスプレイプロダクト)  
 齋藤一弥(筑波大学)  
 高津晴義(DIC)  
 藤掛英夫(東北大学)

#### 1.2 論文・著作賞小委員会委員(主担当:能勢)

液晶物理・物性研究F	荒岡史人(理化学研究所)
液晶化学・材料研究F	宮元展義(福岡工業大学)
液晶ディスプレイ研究F	石鍋隆広(東北大学)
液晶フォトンクス・光デバイス研究F	間宮純一(DIC)
ソフトマター研究F	長谷川龍一(三菱化学科学技術研究センター)
分子配向エレクトロニクス研究F	一川尚広(東京農工大学)
編集委員長	物部浩達(産業技術総合研究所)

(2) 学会賞公募期間締切を従来の2月最終金曜日から2月末日に変更することが承認された。

(3) 個人賞(功績賞、業績賞、技術開発賞、奨励賞)への応募促進の取り組みとして、賛助企業32社に別途推薦依頼を行うことが承認された。

## 4. その他

### 4.1 日本液晶学会討論会の送金業務について

標記の件、松山財務理事より学会事務局所有の未使用のゆうちょ銀行口座を用いて送金業務を行うことが提案され承認された。

### 4.2 来年度の国際文献社との契約について

国際文献社から提案された契約書の承認についてはメール審議することとなった。

### 4.3 2017年度理事会の開催予定が確認された。

第3回理事会:2018年1月20日(土)13~17時(国際文献社江戸川橋を予定)  
 第4回理事会:2018年4月14日(土)13~17時(国際文献社江戸川橋を予定)  
 第5回理事会:2018年8月4日(土)13~17時(国際文献社江戸川橋を予定)

以上で審議を終了し、17時00分に閉会した。